

## 交通バリアフリーニュース



### 高知県・高知市・四国旅客鉄道(株)が 国土交通大臣表彰受賞 ～高知駅及び周辺区域における総合的なバリアフリー化～

国土交通省は、第3回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を行い、34の候補者の中から選考委員会の審査を経て、6件の表彰対象を決定しました。

四国では、高知県・高知市・四国旅客鉄道(株)による高知駅及び周辺区域における総合的なバリアフリー化が見事受賞されました。

#### ◎バリアフリー化推進功労者大臣表彰について

表彰対象・・・バリアフリー化の推進に向けて国土交通分野における多大な貢献が認められ、かつ、顕著な功績又は功労のあったと考えられる個人又は団体。

選定方法・・・国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰選考委員会において、本省内部部局及び地方局等から推薦のあった候補案件の中から表彰対象を選考し、最終的に国土交通大臣が決定します。



JR高知駅

#### ◎国土交通省バリアフリー化推進功労者選考委員会委員

秋山哲男 首都大学東京都市環境科学研究科 教授

高橋儀平 東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 教授

三星昭宏 近畿大学工学部社会環境工学科 教授

#### ◎取り組みの概要

高知駅周辺地区においては、高知県、高知市、四国旅客鉄道(株)が一体となって都市整備に取り組み、平成21年5月に南口駅前広場も含め全面供用開始されました。

障害者団体等との協議を重ねて、鉄道、路面電車、バス、タクシー、マイカーが行き交う交通結節点のバリアフリー化を図るとともに、全面的にリニューアルを行いました。



JR高知駅南側

## ◎選考委員会講評

受賞者は、互いに協力しながら鉄道の高架化、路面電車の軌道整備と合わせ、大規模な土地区画整理事業を実施して、駅前広場、バスターミナル、駅前駐車場、トイレ等の整備を行い、地域における各種交通モードの結節点である高知駅とその周辺区域において、市街地の抜本的な環境改善に取り組み、総合的なバリアフリー化を実現したこと、また、その整備に当たって、地域の障害者団体等との意見交換を幾度も行い、より有効なバリアフリーのための施設整備に結びつけたことを高く評価し、表彰することとしました。



JR高知駅改札

※そのほかの受賞者は下記のとおりです。

- ・特定非営利活動法人手と手／新日本海フェリー(株)小樽支店  
～北海道におけるバリアフリー・ツーリズムの普及～
- ・(株)楽天野球団  
～既存野球場の改修によるバリアフリー化～
- ・東京地下鉄(株)  
～既存及び新規の鉄道施設における先導的なバリアフリー化～
- ・高野町／南海電気鉄道(株)  
～世界遺産を抱える観光地における戦略的なバリアフリー化～
- ・広島市  
～新設野球場におけるバリアフリー化～

詳しくは国土交通省ホームページでご覧下さい。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei\\_barrierfree\\_tk\\_000008.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000008.html)



土電高知駅前電停



土電高知駅前電停全景

## バリアフリー基本構想作成促進セミナー開催 ～高知県高知市～

日 時：平成22年2月15日（月）13:30～15:30

場 所：高知県庁北庁舎3階第1会議室

講 演：「みんなが使いやすい交通をめざして」

日本大学理工学部 轟 朝幸 教授

事例発表：「高知市バリアフリー基本構想の作成と高知市の取り組み」

高知市都市計画課 水口 晃 都市計画担当係長

「高知駅周辺都市整備のバリアフリーの取り組み」

高知市高知駅周辺都市整備課 小松 雅幸 課長補佐

「JR四国におけるバリアフリーへの取り組み」

四国旅客鉄道(株)経営企画部 笥 崇弘 担当課長

四国運輸局と四国地方整備局は、高知県高知市において「バリアフリー基本構想作成促進セミナー」を開催しました。

セミナーには、高知県内の自治体をはじめ、交通事業者、障害者団体などから50名の参加があり、上記内容で講演、事例発表がありました。

最初に日本大学理工学部 轟 朝幸教授からは、「みんなが使いやすい交通をめざして」と題した講演で、公共交通の大切さや、まちとの関係、公共交通を利用したまちの活性化施策など紹介がありました。

次に国土交通大臣表彰を受賞した高知市から高知駅周辺の整備状況や取り組みについて発表がなされました。

参加者からは、歩道・車道の段差や道路横断帯についての取り組み方への質問や駅にエレベーター設置の要望などがありました。いただいたご要望等は今後のバリアフリー施策に反映させていき、また、各自治体が基本構想を作成する際にも検討していく必要があると思われます。



会議の様子

## 第3回バリアフリー推進四国地域連絡会議開催 ～香川県高松市～

日 時：平成22年3月3日（水）13:30～15:30

場 所：高松サンポート合同庁舎アイホール

出席者：徳島大学大学院近藤光男教授、(財)香川県視覚障害者福祉協会、  
(財)香川県身体障害者協会、四国ろうあ連盟、  
(財)香川県老人クラブ連合会、(社)全国脊髄損傷者連合会香川県支部、  
日本発達障害ネットワーク、四国旅客鉄道(株)、四国バス協会、  
四国ハイタク協議会、四国各県・高知市バリアフリー担当部署（順不同）

四国運輸局と四国地方整備局は、高松サンポート合同庁舎において、「第3回バリアフリー推進四国地域連絡会議」を開催しました。

この会議は、関係する施設設置管理者、当事者団体、有識者、行政等が一堂に会し、現状把握、課題の抽出、取組みの先進事例、対応法策の検討などバリアフリー化の推進に向けた知見の共有を図るとともに、互いによりよい協力関係を築き、連携してバリアフリー化のいっそうの推進に寄与することを目的としています。

会議には、四国管内の自治体、交通事業者、障害者団体などから30名が参加し、徳島大学大学院の近藤光男教授を座長として、全国バリアフリーネットワーク会議の報告、行政の施策や取組みに関する報告、意見交換などが行われました。

全国バリアフリーネットワーク会議の報告では、JR高知駅をはじめとした「第3回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」の受賞事例の紹介をし、受賞者代表として、高知市から高知駅周辺のバリアフリー整備状況について説明が行われました。

意見交換会では、ハードの整備だけで終わらず、その施設を本当に必要な人が利用しやすくなるように考えてほしい、高速バスの低床型車両の情報がないので調査してほしいなどの意見・要望が出され、今回の意見・要望は今後のバリアフリー施策に反映させていくとともに、今後もさらに連携してバリアフリー化の推進を図っていくことが確認されました。



会議の様子

## 消費者行政インタビュー

四国運輸局では、消費者ニーズや消費者行政上の課題を把握し、その結果を行政に役立てていくことを目的として公共交通機関の利用者等を対象にインタビューを行っています。

今回は、障害をもった方が主役のマラソン大会「四国てんとう虫マラソン大会」の開催を実現した砂金 則男いさごさんにお話を伺いました。



四国てんとう虫マラソン大会  
代表世話人 砂金 則男さん

## 一緒に楽しく走りましょう！障がいのある人もない人も！

### ○四国てんとう虫マラソンとは？

今から3年前、障害のある人と健常者が同じコースを走る「京都てんとう虫マラソン」を見て、四国でもできないかと思い立ち、一昨年末の大会世話人会発足後、世話人会として準備を進め、昨年11月3日に香川県総合運動公園において四国で初めて開催することができました。大会当日は、障害者77名を含む約340名が出場し、ボランティアを含めた約500名が参加しました。

また、完走者にはゴールする際に特注の金メダルを首にかけてプレゼントもしました。

### ○障害のある人にも走りたい人が多い？

目の不自由な人などは外で歩いたり走ったりしたい人が多いです。しかし、ひとりでできる安全な場所がないから、家に閉じこもりがちになる人も多いようです。だから今回、お宅に伺って、マラソンやウォーキングの話をするると練習会に参加を希望する人が多くありました。

### ○大会までの準備は大変

初めての大会でしたので、想定外のことがたびたび発生し、世話人会では分担し切れない程でした。特に7～8月は暑い中、高松市内を自転車でかけ回り、出場者集めやボランティア集めなど行いました。

また、9月から大会までは、出場者やその家族から数多くの相談や問い合わせがあり、その対応に追われ、10月には大会サポートのボランティアが足りず、各団体などへ何度もお願いに参りました。

### ○伴走の練習会も開催

目の不自由な人などが安全に歩いたり走ったりするには、伴走をする人の協力が必要です。それも走力が上位の人でないといけません。伴走練習会参加者はのべで200人を越えました。練習会では、みなさん汗をいっぱいかいて歩いたり走ったりしています。とてもイキイキしています。

通常は月2回の練習ですが、2月の丸亀ハーフマラソンに出場し完走するため、昨年12月と今年の1月は毎週土日に練習会をしました。結果、練習の甲斐あって出場した4人は全員完走できました。

練習会は今、課題をかかえています。それは練習場所までなかなかひとりで来られない障害者の方への対応です。どうしても送り迎えが必要なので伴走者が市内各地区に増えることで障害者といっしょに参加してもらえればとても助かります。



四国てんとう虫マラソン大会の様子

しかし参加される障害者の人たちには常々、「自分でできることはやってくださいネ、でも、伴走(歩)は私たちがしっかりやりますから」と言っています。

### ○伴走は難しい？

決して難しくはありませんが、伴走することに慣れる必要があります。

また、慣れてきたからといって手を抜くと事故につながりますので、練習はしっかりしてほしいのです。

また、練習は、どうしても車や人の少ないところですが私は人や自転車とすれちがう通りでしないと対応方法が身に付かないと思っています。

それから、目の見えない人は走っていて肌で感じるものはあってもやはり天候などはわかりません。伴走する人には「今日は空に入道雲が見えますよ」、「川面が銀色に光っています」というような、よもやま話をしながらの余裕を持った伴走をしてほしいのです。理屈ではわかっている、いざ危険なことに遭遇したときに臨機応変に対応ができるかということ、結構難しい場面もあるので、練習は必要です。時には伴走者がアイマスクで見えない体験をすることもやはり必要です。

### ○大会は大成功

とても感謝されました。是非続けてくださいと。また、大会後のアンケートでは、沿道の応援が非常によかったということでしたので次回はストリートミュージシャンなどを呼んだり、沿道が家族単位のミニコンサートのようになれば更にあたたかい大会になるのではと思っています。

### ○次回の大会は

第2回大会は平成22年11月14日(日)に香川県総合運動公園(高松市生島町)で開催することが決まりました。既に香川県や岡山県で開催されたマラソン大会会場に出向き、参加ランナーにチラシを配って宣伝を行いました。早くもFAXで大会への参加を表明してくださった方も多くいます。

5月には前回出場いただいた方、また、今回参加表明をしていただけた方に大会要項をお送りしようと考えています。

### ○最後に

障害のある人も介助があればこんなに元気なスポーツができるということを知ってほしいです。

もっと多くの障害のある人が参加し、また、沿道でランナーを様々なかたちで応援する人が増えて、この大会の意義が多くの人にわかってもらえればいいと思っています。

いずれは四国4県での開催ができればと考えています。

てんとう虫の5つの点は、点字で「て」を表しています。

障がいのある人とない人がともに手をつなぐことを意味しています。



## 第5回鉄軌道バリアフリー推進会議を開催

日時：平成22年2月24日(水) 13:30~15:00

場所：サンポート高松

出席事業者：四国旅客鉄道(株)、高松琴平電気鉄道(株)、伊予鉄道(株)、土佐電気鉄道(株)、土佐くろしお鉄道(株)、阿佐海岸鉄道(株)、四国鉄道協会(順不同)

四国運輸局は、管内の鉄軌道事業者と意見等交換をすることで、バリアフリー化の推進につなげていくことを目的とした「鉄軌道バリアフリー推進会議」を開催しました。会議では、各事業者のバリアフリー化整備状況を確認するとともに、今後の旅客施設の整備について国や自治体と連携しながら進めていくことをあらためて確認しました。また、ハード面とあわせてソフト面の整備についても今まで以上に進めていくこととしました。



会議の様子

交通バリアフリーニュース第19号(平成22年1月8日発行)で一部数値が違っておりました。お詫びするとともに下記のとおり訂正いたします。

記

P. 3 バリアフリー新法に基づくバリアフリー化の進捗状況

3. 推進方策のフォローアップ

実施内容〈平成20年度中にバリアフリー化が進んだ主な鉄軌道駅〉

段差の解消 伊予鉄道(株) 2駅→1駅

計8駅(累計99駅)→計7駅(累計98駅)



みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消費者行政課まで、FAXまたはメールでお寄せ下さい。

〒760-0064 香川県高松市朝日新町1-30

電話 087(825)1174

FAX 087(822)3412

Email: Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp



国土交通省

四国運輸局ホームページもご覧下さい

<http://www.skt.mlit.go.jp/>

このニュースは交通バリアフリー関係の話題を中心にして、4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。

このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。